

にほんまろ、  
稲住者と  
本気で  
作りました。

稲住ガイドブック

この冊子を読む前でも。読んだ後でも。

# 「どんな移住をしてみたいですか？」

あなたと受け入れ先のために。教えてください、あなたのこと。

## 移住先が二本松でも、そうじゃなくてもいつかは決めないといけない項目たち。

移住するのはあなたです。あなたが後悔しない道を探すためには、あなたの心の整理が必要不可欠。自分の頭を整理し、「自分の中の条件」と「まだ解決できていないこと」を知るためにこのページを活用してみましょう。

- ・記入内容を基に受け入れ側や状況と調節を行っていく。現時点ではあなたの希望で構いません。
- ・「移住してすぐ」と「将来的に考えていること」を書き分けられると、より good !

### なぜ移住に興味を持った・考えたのですか？

---

---

### どんな暮らしがしたいですか？（希望するお仕事は？）

- 新規就農（こだわりがある方は\_\_\_\_\_）
- 半農半X（兼業農家）
- 起業（業種が決まっている方\_\_\_\_\_）
- 就業（条件が決まっている方\_\_\_\_\_）
- その他希望：\_\_\_\_\_

### どんな家に住みたいですか？

- アパート  マンション  一軒家
- 賃貸  購入  親族の家または実家  そのほか

### 家に求める条件は？（例：畑付き、DIY可物件、広い方がいい、家賃は●円がいい）

---

### 移住先の必須条件は？

---

### 今、移住に踏み切れない理由は何ですか？もしくは今、悩みはありますか？

---

### いつ頃移住したいですか？

---

### あなたが今一番知りたいことはなんですか？

---

## あなたの「こんな暮らしをしたい」を伝えることで得られる情報、助けが増える。

「色々な制度もあるけれど、何を勧めたらいいのだろう？」と受け入れ側も悩んでいることがあります。あなたの想いや描く暮らしのイメージも共有できれば、集まってくる情報や助けの手が増える可能性があります。

このガイドブックではこの3つを宣言します。

- 1 田舎暮らしの良いところばかりを並べない。
- 2 市の観光PRよりも移住希望者に有益な情報を優先すべし。
- 3 これを読んだあなたのお手伝いをさせていただきます。

私たちは、にほんまつが好きです。

できることなら、あなたの移住先に二本松市を選んで欲しいです。

でも、私たちが必要としているのは、

市の人口が1人増えた、2人増えた、のような単位で見ると移住ではありません。

にほんまつは人の想いでできています。

だから、あなたにも「想いを現実できる移住」をして欲しいのです。

私たちは、そんなあなたのお手伝いをさせていただきます。

あなたの理想の田舎暮らしを実現させてみませんか？

## 目次

どんな移住をしてみたいですか？	1
はじめに	2
移住者の暮らし	3
にほんまつの移住サポート	7
お問い合わせ先	
移住支援アンバサダー	
移住の流れ 他	
移住に関わる小話	9
暮らし事情	
各種制度・窓口紹介	
地域おこし協力隊	
二本松市の地図と概要	別紙

# 移住者の暮らし

先輩移住者の生活・経験から、移住のヒントが見つかるかも？



## 仲里 忍さん

### Profile

ご職業 農家・農家民宿+α

出身地 沖縄県

移住場所 里山エリア

こだわりの古民家が魅力の農家民宿「ゆんた」のオーナー仲里さんは里山エリアに住んで13年が過ぎるという。  
facebook「農家民宿 ゆんた」で検索。

### 困ったこと

農業は思った以上に大変でした。でも、指導者がいる安心感もあります。



## 穏やかな人たちに迎えられて、今は精神的にすごく"楽"です。

東京の近くで農業をしたいと考え、最初は関東の田舎を検討しましたが、農業の初期投資でかかるお金のことに不安がありました。田舎暮らしの本に『NPO 法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会』の記事が載っていて、名前にも惹かれ、連絡してみたんです。

その後、地域にお試しで来て、地元の人に不安や思っていること、お金もあまりないということを言ったんですよ。そしたら「1週間来てみたら？」と言われました。それまでやっていた都会のバイトを辞めて、前回の訪問から1ヶ月後に1週間滞在。いろんな初期投資が辛いですって言ったら「うちのを使えばいい」ってサラリと言われて。ずっと抱えていた悩みがすぐ解決しちゃいました(笑)。

移住5年後に農家民宿を開業しました。リピーターのお客さんも多くて、今では大事ななりわいです。大変だけれど、楽しくなかったらやってない。ここに来て、よかったなって思います。

### どんな作物を作っていますか？

出荷用に夏野菜。その他、大根や白菜は農家民宿で消費するために。

### 1年間のサイクルは？

農業が忙しいのは夏で、民宿の繁忙期も夏です(笑)。買い出しをはじめとする宿泊の準備に、農作業も加わるのでとても大変です。一方で冬は時間が余るので、知人の紹介で近くの企業で働いています。最近では民宿に外国のお客さんもいらっしゃるので、夜の余暇などは英語の勉強をしています。

### 家賃・家事情を教えてください。

家賃は年間10万円程。他に浄化槽管理費などで5万程度かかります。民宿もやっているの、年単位で修繕も行なっています。

### お金がなくても平気？

僕の場合は、都会も田舎も収入はギリギリですけど、田舎の方が精神的に楽です。顔が見えるつながりもあるし、食べ物や時間の過ごし方など、物事がなんとかなるなって思えます。

## 小田 慶さん かおりさん

### Profile

ご職業 洋食店経営(起業)

出身地 慶さん(千葉県)  
かおりさん(二本松市)

移住場所 街中エリア

二本松市のお城、霞ヶ城近くの小高い山の上に、真っ赤なドアが可愛い店をオープンさせた小田さんご夫婦。  
web… <https://petitriziere.com/>



2人とも東京で20年以上、料理人として働いていました。料理・サービスのすべてを任されて、将来は東京でビストロをやろうと思っていました。しかし、ある時任された六本木の店が、地方と東京を食で繋ごうというコンセプトの会社で、美味しい食材や農家さんと繋がりができたのが楽しくて僕たちも野菜を作りながらレストランをやりたいと思うようになりました。妻の実家が農家なので、農業を手伝うようになると「もっと早くにやっていたらよかった」と心から思いました。こんな小さな種から野菜ができる感動、生産者さんとの繋がり、自分で野菜を作ってそれを提供出来ることへの夢が広がりました。

移居前、仕入れルートや土地勘を知ることが、必要だと考えていました。そこで、「こんなことを考えているんですけど地域のことでわからないことが多いので、一度勤めたいんですけど募集していますか？」って市内のある企業様宛にメールを出しました。そしたら、社長さんがわざわざ六本木に来てくれたんです！そこで僕の料理を食べてもらって、一年半雇ってもらいました。そこでできた繋がりが今につながっています。

### どれくらい準備・構想があった？

頭の中に描いていた時間はすごく長いですが、実際に動いたのは1年くらいですね。

### 田舎でお店をやるのは怖くなかった？

怖かったです、めっちゃ。(笑)この間はじめてお店がガランとしたのですが、地域の行事があるとお客さんの数に出るので「人が少ない・人が限られる」ってこういうことなんだな、と。移住前にやってよかったことは？  
商工会議所と地域の信用金庫に相談に行ったこと。無料のセミナーを始め、人脈や使えるノウハウを教えてください、一緒に計画を練ってくれました。

### 失敗した！と思ったことは？

事前にお金は貯めた！と思っていたけれど、前年度の収入が基準となる税金や、保険や車の購入は、覚悟していた以上の負担で驚いてしまいました。



### この素敵な物件との出会いは？

大きな市の駅前にお店を構えては東京でやるのと変わらなくなってしまうので、畑から近いこと・雰囲気こだわりました。でも、当初はなかなか理想の物件には出会えず、すごく落ち込みました。「東京に戻ろうか」とも思いました。そんな時に、この物件の前のオーナーさんが引退されるという話が知り合いから入ってきたんです。自分が引退しても飲食をやりたい人にここを譲りたいと思っていたそうです。

移住を決めて理想のお店を開くまで3年。  
いろいろな人に相談し、徐々に整った環境。



小林 正典さん 愛枝さん

Profile

ご職業 農家（無農薬野菜・養鶏）  
 出身地 東京都  
 移住場所 里山エリア

震災直後に二本松市での暮らしをスタートしました。現在は200羽の鶏と暮らしています。今後はイチゴ栽培の夢も！

何にもないから、なんでもできる。だからここに決めました。

東京での仕事が管理職で、人に使われるのも使うのも嫌になっちゃって。自分でやれることをやりたくて移住を検討し始めました。最初は他県を検討していたのですが、実際に行ってみて「ここは違うな」と感じ、悩んでいました。その後、ふるさと回帰支援センターの移住相談会で、東和地域が行っていた抜根事業（竹を抜根し、畑を作る）の話聞いて、興味が出ました。そして実際に二本松市に来て、東和地域に「一目惚れ」です。自分で使う畑をゼロから作る。なんでも自分たちでやりたい、そんな私たちの理想にぴったりでした。また、来た時に出会った先住の移住者がみんな楽しそうにしていたのが決め手です。移住者が楽しいところって自分たちも行ったら楽しいだろうなって。

私たちが、あんまり早くこっちに住みたいという感じだったので、むしろ地元の人が驚くくらいでした。関東を出発する日、1台の車に乗り込んで、東京を抜けた瞬間は、本当にワクワクしました。

**移住検討期間中、思い出深い出来事は？**  
 最初にここに来た時、数人の地域住人の方とお昼ご飯を食べたのですが、住人の方みんながここでの暮らしに対してアドバイスをしてくれました。「ああ、こういう土地柄なんだな。これなら大丈夫かな」と思えました。

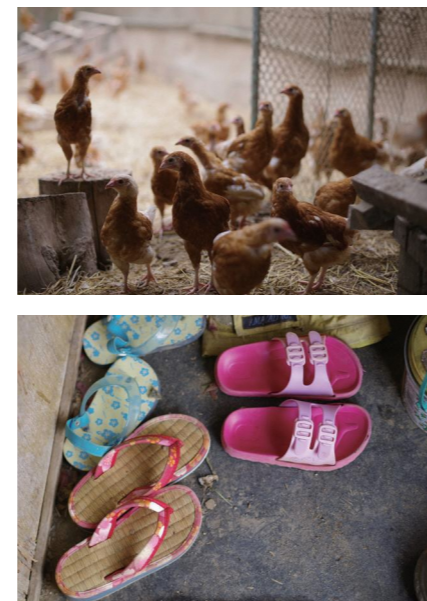
**農業研修は1年ですが、短い？**  
 ちょうどいい。固定概念にとらわれずに、自分で工夫してやっていかなきゃいけない。研修は研修であって、答え合わせじゃないから。

**独立して1年目は？**  
 自分の限界を知るために、めちゃくちゃになるのを覚悟で、あえて沢山の種類の作物の栽培を試しました。これを参考に、2年目から効率とかコスト面を重視して選択と集中を意識しました。

**町内会や消防団に属していますか？**  
 はい。頼まれたことは基本的に受けることにしていて、順当にいけば区長になっちゃう。(笑) 都心にいたから、見るものが新しく、そういう「役」も楽しくやっています。

**困ったことは？**  
 子育てと仕事の両立です。子供が熱を出すと小児科専門の病院までの送迎が大変です。

**二本松で気に入っているポイント。**  
 何もないけど、なんでも自分でできる。「どうしたらいいかなー」って試行錯誤する。それが楽しい。



程よい距離感で田舎づきあい。それが、都会の視点を忘れずに働くためのコツです。

丸田 陽加里さん

Profile

ご職業 地域おこし協力隊  
 出身地 神奈川県  
 移住場所 温泉・高原エリア

よそ者の視点を活かした岳温泉エリアの情報発信を主な業務としている。「女子旅」をテーマに、安達太良山登山に特化した観光ガイドブックを発行。



丸田さんの職場でもある岳温泉観光協会の建物。丸田さんたちが、内装をDIYした。

転職を検討していた時に、見ていた求人サイトに岳温泉・安達太良山の風景が載っていたのがきっかけです。以前、安達太良山登山や岳温泉の旅館に宿泊をしたことを思い出しました。温泉も安達太良山もすごく良いところだったので、温泉街に関しては正直「さびれてるな……」と思った記憶があります。調べても情報は出てこないけど、一歩旅館に入ってみると、綺麗だしいいところだし「勿体無いな、もっと若い人や女性向けに情報を発信すればいいのに」って。だから、当時観光していた自分が感じたことを実現できる地域おこし協力隊の情報発信という業務に興味があったんです。今は好奇心の強い自分に合った仕事できてとても楽しいです。

協力隊をやってみてどう？

写真を撮りに行ったり、ロープウェイで安達太良山に登ったり、興味があることが仕事になるし、仕事が地域の人の関係のはじまりになる。地域おこしに興味があったわけじゃなくて、安達太良山が本当に大好きなので着任した仕事。去年はその安達太良の魅力に気づいてもらえるように企画を練りました。今は、観光とまちづくりって繋がっているんだと体感しています。

**休日はどうしていますか？**  
 郡山市・福島市・猪苗代・裏磐梯などに遊びに行くことも多いです。国道4号線もあり、隣接している市町村を使い分けて生活できます。

**何が不安でしたか？**  
 都会で育ち、働いてきたところも大きな企業だったので、地方の小さな企業に入るのは悩みました。「大丈夫なんだろうか…」と思いながら、観光協会に話を伺いに来た記憶が。(笑) 今はめっちゃ快適です。

**今は快適と思えるのはなぜ？**  
 「情報をもっと発信したい」というのが明確だったので、受け入れ団体の観光協会には応募前にやりたいことをはっきり言葉で伝えました。移住前に観光協会と「すり合わせ」ができたことが、今に繋がっていると思います。

**協力隊は地域づきあいが大変？**  
 田舎の良さであげられる「人が親切」と、欠点の「プライベートがない」は地域のコミュニティがコンパクトだからこそ起きる表裏一体。都会の感覚も失いたくない私は、仕事と家のエリアが違う（温泉エリアと街中エリア）ことが自分が良いと思える「地域と自分の適切な距離」を守る結果になっていると思います。そういう、「適度な田舎暮らし」もおすすめです。



# 地域の人を加えた相談・サポートが強い にほんまつの移住サポート

移住前も移住後も地域では、あなたと住民の間の「繋ぎ」がとても大事。地域での困りごとを相談したり、集落であなたの味方になったり。二本松市では民間のサポートをとても大切にしています。

まずはこちらにご相談ください

## 二本松市移住総合窓口にお問い合わせ 二本松市役所秘書政策課

まずは、総合窓口の秘書政策課までお問い合わせください。必要に応じて、組織・制度をご紹介します。

TEL : 0243-24-7120 / FAX : 0243-22-7023  
Mail : energy@city.nihonmatsu.lg.jp

移住定住専用サイト <http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/page/dir000004.html>



## 都内で相談

### 福島県が開設している移住相談のワンストップ総合窓口 認定 NPO 法人 ふるさと回帰支援センター 内 福が満開、福しま暮らし情報センター

田舎暮らしや地域交流をしたい方をサポートしています。市に直接問い合わせる前に、田舎暮らしや福島県内の情報についてアドバイスを受けることができます。

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8F  
相談時間：火～日曜 10:00~18:00 定休日：月・祝日  
TEL : 03-6273-4401 Mail : info@furusatokaiki.net  
Web : <https://www.furusatokaiki.net/consultation/fukushima/>

## 移住までの流れ

自分の考えをまとめる

準備する

移住生活スタート

「本当に移住をしたいのか・移住後に何をしたいのか」を整理する。考えを書いてみることも効果的。

移住相談会、セミナーに参加。ふるさと回帰支援センターに行く。「こんな暮らしをしたい」を伝えてみる。地方のことを聞いてみる。

気になる地域に実際に行ってみる。

- 現地に行ってみる。
- 移住支援アンバサダーや地域住民と知り合い、交流。
- 家について下調べをする。
- 仕事について相談する。
- 受け入れタイミングの相談。
- 移住には、お金もかかります。
- 現在の仕事・住居等の整理。

就職、農業、起業、二地域居住などさまざまな生き方を実現している移住者が多い二本松市。あなたの新しい暮らしがここから始まります。

[動画で見る移住者の生活]



## 一度、興味のある地域に行ってみる。百聞は一見にしかず。

二本松市に限らず、あなたの想像している移住生活と現地での状況には必ず「想像外」があります。現地に行くことは、その「想像外」が起きても、大丈夫と思えるための準備なのです。そのため、必ず現地を見に行きましょう。

- 四季の様子・利便性を確認できる。
- 地域側が希望者の考え・想いを共有でき、あなたに対して具体的なサポート提示ができる。
- 地域住民との距離感がつかめる。にほんまつに滞在してもらうために。
- 地域住民の方々と事前に繋がりを得ることで、後に地域に溶け込むのがスムーズになる。

## にほんまつに滞在してもらうために。

**田舎暮らし体験ツアー**  
年に3回程度、市と地域が連携し開催。回によりテーマが異なる。

**民宿・民泊**  
20軒を超える農家民宿がある。地域の食を楽しむことができる。家主から情報を得ながら滞在が可能。

**おためし住宅**  
民宿等と比べて長く滞在できる。自分のペースで地域を知る。利用条件有。

## 移住支援アンバサダー制度

地域で暮らす人々があなたの移住をサポート

二本松市では移住・定住を促進するため、市と連携してスキルを活かし移住支援する団体・個人を「移住支援アンバサダー」として登録しました。移住支援アンバサダーは、行政ではできないあなたと地域の「繋ぎ」を担います。

- 希望者に情報を提供し相談に応じる。
- 相談会やセミナーへ市とともに参加。
- 市の移住に関するイベントに協力。

移住支援アンバサダーへの連絡は市秘書政策課まで。



### NPO 法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

新規就農者等の受入、空き家、農地の相談に応じています。里山暮らしをしたい方のご連絡をお待ちしております。

TEL…… 0243-46-2116  
web…… <https://touwanosato.net/>



### オーガニックふくしま安達

有機農業普及の一環として、新規就農者確保、農業後継者確保を目指しています。新規就農希望の方の研修も受け入れておりますのでご連絡ください。

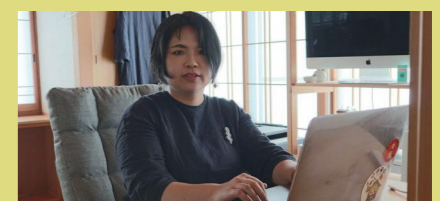
mail…… info@organic-fa.jp  
web…… <http://organic-fa.jp/>



### 橋本 花梨

他県での移住支援経験を活かし、地域づくりや移住・定住促進を目指しています。

チーズケーキ工房・カフェ風花  
web…… <https://www.fuka-co.jp/>



### 武藤 琴美

元・地域おこし協力隊、Uターンの視点を活かし移住支援に取り組んでいます。是非お気軽にご連絡ください。

mail…… k.muto@yukishiroya.info  
web…… <https://yukishiroya.info>



## 01 人

移住して農業を始める人や起業している人が多く暮らしている二本松市。だからこそ移住者が入ってきやすい雰囲気があり、先輩移住者のネットワークもあります。不安なことは、先輩移住者に相談することが出来ます。また、地域の人も新しくコミュニティに入ってくる方に期待と不安の気持ちを持っています。地方での暮らしは、都会よりも住民の方々のコミュニケーションが大切です。地域の人の話に耳を傾け、地域の人々が大切にしている価値観を尊重しながら、自分の想いを実現させていきましょう。



2019年に移住したドカーティご夫婦。決め手は「移住者仲間が多い里山エリアなら私たちを受け入れてもらえそうだったから」とのこと。

## 02 仕事とおかね

都心に比べて給与額は少なくなるかも。また、新たに車を所有する場合は、購入費・維持費が必要な経費となってきます。一方で、月々の家賃などは安く抑えられます。

### 企業で働きたい方

市内の中小企業を紹介。  
担当：市商工課 (0243-55-5120)、二本松市ハローワーク (0243-23-0343)

### 起業をお考えの方

補助制度がありますので、まずは相談してみてください。  
担当：市商工課 (0243-55-5120) 二本松商工会議所 (0243-23-3211) あだたら商工会 (0243-23-5854)

### 就農を目指す方

新たに農業を始める方を応援する補助金制度があります。  
担当：市農業振興課 (0243-55-5116) 福島県農業振興公社青年農業者等育成センター (024-521-9848)

## 03 家

空き家=田舎の家は大きすぎるのか？  
大きく広い家から平屋で比較的コンパクトな物件まで、同じ物はない一期一会なところも物件探しの楽しみです。

### 新築住宅を取得する方

若い世代への補助制度があります。

### 物件情報を知りたい方

市の空き家バンク・不動産業者 [二本松市 空き家バンク] で検索するとご覧いただけます。



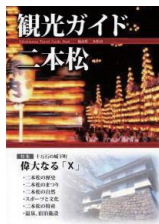
### 空き家の修繕・改修を希望する方

市の空き家バンクの紹介、改修の補助制度があります。

補助制度・空き家バンク担当：市秘書政策課  
\*申請前に市秘書政策課に相談ください。

	里山エリア	街中エリア
特徴	近くに畑、庭が持てる物件が多い。一軒家が多い。	一軒家、アパート、マンションなど物件の種類が多い。
賃貸・家賃	1万円～5万円程度。(一軒家) ※大家さんとの交渉になるため金額に幅がある。	4万円～7万円程度。(アパート)
物件探し	空き家バンクや個人交渉の家探しが主流。不動産を仲介する物件も有。	不動産業者を仲介して探するのが主流。

## にほんまつを もっと知りたい方へ



### 二本松観光ガイドブック

歴史文化・観光資源の多い二本松市。二本松市の景色をご覧ください。webにて「二本松観光ガイドブック」で検索するとパソコンからもご覧いただけます。



### mamaになるならにほんまつ

子育て支援、オリジナルアプリや補助制度情報掲載。webにて「mamaになるならにほんまつ」で検索すると毎年最新版をご覧いただけます。

移住ガイドブックと一緒にお渡ししています。

### 二本松市市勢要覧

市の基本情報・地図、二本松市で進めている政策などを紹介しています。二本松市の基本情報を余すところなく見ていただくことができます。「二本松市市勢要覧」で検索するとパソコンからご覧いただけます。

▷ <http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/page/page003680.html>

### 移住ガイドブック地図

このガイドブックに付属している地図をダウンロードすることができます。



## 先輩移住者が（お節介でも）教えた！ Point! にほんまつ

### 車の運転に自信がない方へ。

田舎の生活で外せない車。移住前は、ペーパードライバーで心配な方もいますよね。田舎での運転は、東京のような渋滞がなく、車線も少ないので、落ち着いて運転すれば徐々に慣れていくかも。冬はスタッドレスタイヤが必須。

### 東北だから雪は積もる？

東北といえば、心配なのは冬ではないでしょうか？二本松市は、街中と里山・温泉エリアでは積雪量が異なりますが、30センチを超える積雪は稀で、雪かきに追われることはあまりありません。冬がある分、四季のメリハリがあります。冬を感じ方は個人差があるので、移住前に下見をすることをお勧めします。

### 里山エリアの買い物事情。

買い出しは、近隣の小さな商店と街中のスーパーを上手に使い分けて行きます。また、二本松市は福島市と郡山市の間に位置するため、30分程度のドライブを兼ねて近隣の街に行くことも可能です。

### ゴミ出し表は必ずゲットして！

転入の際は、市役所窓口で「ゴミの分別表」を必ず貰いましょう。ゴミ袋は有料。コンビニやスーパーなどで購入することができます。また、引っ越し初期に出る大量のゴミなどは「もとみやクリーンセンター」に自家用車で持ち込めば、地域の収集日に関係なく、一気に片付けることもできます。

### 町内会に入ったほうがいい？

入ることで得られるメリットがあります。例えば、大抵、家の近くのゴミ捨て場はその町内会で管理・維持しています。ゴミ捨て場を使用するには町内会への加入が必要となる場合がほとんどです。町内会費の額や行事の数はその会によって異なりますので近隣の方に確認しましょう。20代～40代の男性が地域に馴染むと消防団やお祭りの氏子などに声がかかることも。同世代の知り合いや仲間に出会う機会です。どの組織も自分の生活との兼ね合いを大切に、上手に付き合ってください。



## 移住成功のための五箇条

- 一 移住前になんども現地に行って、地域の雰囲気を知ろう。
- 一 余裕のある資金計画と就労意識が必要。
- 一 地域の人々が大切にしているしきたりや価値観を尊重しましょう。
- 一 都会より住民との交流が必要であることを認識しよう。
- 一 田舎は楽園ではありません、利便性は都会には劣りますし、虫がいるなどの不便さを楽しむ心の余裕が必要です。

## 地域おこし協力隊 田舎暮らし、働き方の一コマ。



全国でも稀な制度です！

### おためし地域おこし協力隊

隊員のスキルと地域の課題、受け入れ団体(隊員の勤務先)とのマッチングを図るため2泊3日程度地域に滞在していただけます。その間の宿泊費等はかからないため、「しっかり地域を見極めよう」という方にオススメです。

▷ 二本松市役所秘書政策課

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/page/dir000004.html>



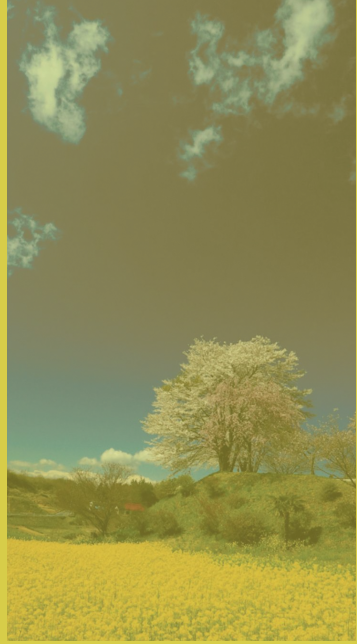
地域おこし協力隊は、隊員希望者が都市部から地方に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売、PRなどに携わり、地域活性化を目指す取り組みです。地方では、人口減少や高齢化が進み、人材や担い手が不足しており、地方での生活を望む都市部の方を迎え入れ、地域の課題解決のために活躍していただいています。平成26年度より、これまで10名以上の隊員受入実績があります。

▷ にほんまつの協力隊に興味がある方 [二本松市 地域おこし協力隊] で検索

▷ 制度を詳しく知りたい方 [総務省 地域おこし協力隊] で検索



# Nihonmatsu



あなたをまつ、にほんまつ